

SAKURA

Since 2013



Vol.65
3・4月号
2024.3.1発行

10周年からその先へ ずっと続く文化芸術



文化芸術ってオモシロイ!!

== INDEX ==

さくらプラザ 自主事業レポート①

さくらプラザ開館 10周年と館長 小林 君江

さくらプラザ 自主事業レポート②

さくらプラザ 特待生 第19回特待生ミーティング(試演会)

Pick Up 特待生

さくらプラザ 特待生 **進 絢瑛**

連載

【最終回】

子ども × 文化芸術 × 私たちの暮らす街
WA! 育つ! 育てる! / 小田直弥

【最終回】

10周年記念スペシャル User's Voice

人は皆 背中で語る…見返戸塚人



Web版



さくらプラザ開館 10 周年と館長 小林 君江

2023年8月で開館10周年を迎えたさくらプラザ。「10周年からその先へずっと続く文化芸術」をテーマに1年間に渡って周年事業の指揮をとってきた館長・小林君江に、自身の経歴や仕事観とともに、さくらプラザ開館10周年を振り返って語っていただきました。

●館長ご自身や今までの仕事についてお聞かせください。

小林君江（以下、省略）—この仕事を始める前は企業のPRや販売促進イベントを手がけていました。そのつながりでホール運営に関わるようになり、新宿の商業施設のホール運営の仕事が文化施設の運営を始めるきっかけになりました。公共の文化施設の運営を民間の会社がやるイメージがあまりなかった頃の話です。

●公共施設と民間施設との違いはありましたか？

2018年にさくらプラザの館長として赴任しました。それまで主に民間のホール運営に携わっていたため、ユーザーは企業相手だったこともあり、当初民間と公共施設の違いとして金額や時間の考え方が少し違う印象がありましたが、サービスを行う点ではそんなに大きな違いはないと思いました。お客様が要望されることを実現していくということでしょうか。様々なホールで経験を積んできましたので、その時の経験を生かし、予期しないピンチや事前に想定できそうなことは、スタッフに共有するようにしています。

●どんな仕事観をお持ちですか？

仕事に対しては「興味を持って仕事をしよう」というのがモットーです。一期一会という言葉がありますが、縁を大事にして、その時の最高のパフォーマンスができるといい。そしてそれができているかをいつも問い続けなければいけないと思っています。新型コロナウイルス感染症があったことで、安全面や周りの状況判断が大切だと思いましたし、その時々で望まれるものも違ってきました。臨場感とは違う安心して楽しめるものが望まれているのと、いろいろな人との関わりやコミュニケーションが大事なと再認識しました。

●さくらプラザはどんな施設ですか？それ以前に携わった施設とどう違いますか？

民間の施設の経験が長かったこともあり、「公共施設だな」という感じはしましたが、昔ながらのいわゆる公共施設というイメージとは違いました。新しい感覚があり、いろいろな企画やシリーズ公演があったり、なかなか出演をお願いできないようなアーティストの方にもご出演頂いたり、企画力が凄いなと率直に思いました。

●横浜市の中で戸塚はどんなイメージですか？

今まで仕事で横浜エリアに来ることがあまりなかったのですが、戸塚は横浜というよりは鎌倉に近いイメージで、歴史があり文化芸術が発達した街という印象です。空が開けているから空気がおいしく感じますし、駅前には商業施設

が多いですが、少し離れると緑も多くいろいろな顔を見せてくれる街ですね。新しく入ってきたニューファミリーの方たちも多いので、長く住んでいる方たちとの双方の交流・つながりが戸塚の地域としての課題になっていくと思います。



2023.8 さくらプラザオープンデー

●戸塚の好きなところを教えてください。

やはり自然豊かなところでしょうか。駅を少し離れてバスを降りると、鳥が鳴いていたり、季節の花が咲いていたり、すぐく季節を感じることができます。部屋の中で仕事をしていると暑いか寒いかなの感じ方になってしまいますが、外に出ると季節の移り変わりを肌で感じることができます。

また戸塚はものづくりが盛んな街で、「戸塚ものづくり自慢展」*も面白いイベントだと思ひ拝見しています。様々な会社の工場があり、国道が通っているから便利な場所なのだろうと。そして箱根駅伝の中継所としても全国区ですからね。

*金属を削る特殊な技術や環境に配慮した製品づくりなど高度な技術や独自の製品を生み出すものづくり企業を見て・知って・魅力を感じる展覧会

●文化・芸術の魅力についてお聞かせください。

以前働いていた職場では演劇の公演なども手がけていたので、今でも演劇はよく観ます。クラシックをすごくよく知っているというわけではなかったのですが、この現場にきてから気になっていろいろと自分で調べたりするようになりました。新しい知識を得ることで、人生はずっと勉強だと思えます。クラシックは小学校の頃からパッハやベートーヴェンを音楽の時間に習ったり、聴いたりするので誰にとっても身近にある音楽ですよ。年齢関係なく感想が言い合えて、世代間交流のきっかけになれるものだと思います。

●どのような開館10周年でしたか？

私自身、開館5年目に館長として赴任し、今回10周年に立ち合うことができました。施設運営をしている期間に周年事業に立ち合えることは貴重な機会なので、職員にも「みんなで一緒に作り上げた10周年」ということを再認識してもらいたいというもあり、記念のチケットホルダーやボールペンなどの周年グッズを製作しました。それを地域の方々にお配りしながらお祝いのメッセージもいただきました。この機会に初めてさくらプラザを知ったという方もいらっしゃいました。また、2020年3月以降の新型コロナウイルス感染症は、今までに経験した



開館10周年記念グッズ



ことのない大ピンチでした。世界的に初めてのことで、何をどうすればいいのか、見えないゴールに向かって、皆で迷っている感じでしたね。今思えばあの時はこうすれば良かったというのがありますが。新型コロナウイルス感染症で延期になってしまった公演などもありましたが、今回の10周年ではその時にできなかった企画をもう一度掘り起こし、開館時からオリジナルシリーズを行なっていた



2023.10 福井 敬 テノールリサイタル

●10周年を迎えたさくらプラザとして、ソーシャルインクルージョン*の活動はどのように考えられていますか？

*社会的に弱い立場にある人々も誰一人取り残さず、全ての人が地域社会に参加し、共に生きていくという理念

区民文化センターをはじめとする文化施設に求められている役割の1つではあるので、やるべきだし、やらなければいけないのですが、どのように携わっていくか、専門性が必要な分野で、それを私たちがどのように消化し、アウトプットしていくのかが大切ではないかと思っています。

SDGsと繋がるところもありますが、ソーシャルインクルージョンは誰もが楽しめるもの、どの立場がいいのか悪いのかというような上下をつけるようなことではないと思いますし、全ての人が興味あることに参加し、関わるができることだと思っています。そうするためにはどうするかが大事であり、障害を持っている方たちでも文化施設で同じように音楽を聴いたり、演技を楽しんだり、どのような形で参加できるかを考えていきます。

また、今後高齢の方も増えていきますが、単身で住まわれている人が孤独にならないよう、文化施設として何ができるか問われています。明確な回答がないので難しいですが、地域の課題として、取り組んでいくことですよ。そのためには区内の他の施設とのつながりが重要で、さくらプラザはコーディネーターの役割が求められていると思っています。



4F受付10周年メッセージ



舞台袖卓

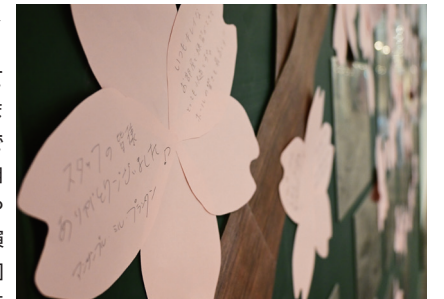
●今後のさくらプラザのビジョンを教えてください。

さくらプラザは、「まちを元気にする私たちのアートステーション」という大きなテーマがあり、それを基にいろいろな事業を展開しています。地域活動団体の方のサポート、団体活動の活性化やそれを広げていくために「動画公開サポート」というコンテンツもやっています。動画を見ていただいた方たちがお互いに協力し合って新たな活動を生み出し、繋がりができれば嬉しいです。また他の施設との連携、繋がりを作っていくことで戸塚区自体が活性化し、最終的には他の区などから「戸塚らしい」と言われる活動になると良いと思います。ここを起点に色々繋がりが増えていくといいですね。

●情報誌をご覧いただいている皆さんにメッセージをお願いします。

皆様のおかげでさくらプラザは10周年を迎えることができました。おそらく10年前はどんな施設ができるんだろうと皆さんワクワクされていたと思います。そのワクワクが今どういう気持ちになっていらっしゃるのかすごく気になります。皆様の色々なご意見をお聞かせください。

私自身も勤務して6年ほどになりますが、結婚などで退職した職員が自分たちの子どもや家族を連れて公演やイベントに参加してくれたり、特待生*として活動



さくらの応援メッセージ

していた方がコンクールで入賞して、ホールでリサイタルを開催したり、嬉しいことがありました。続けていくうちに地域の人たちとの繋がりが自然とできているのだと感じます。さくらプラザで働くことができ感謝しています。この感謝の気持ちを忘れずにまた次に向かっていきたいと思っていますので、ぜひ今後のさくらプラザに期待していただき、いろいろなご意見をお寄せいただければありがたく思います。



2023 ラインナップチラシ

*次世代を担う若いアーティストたちが、優れた演奏にふれる機会を多く得られるよう、さくらプラザ主催事業を無料で鑑賞できる制度

取材・構成/近藤 喬之・沼上 智子

第19回
さくらプラザ特待生ミーティング(試演会)
2023年12月26日(火) 14:00~15:30

戸塚区民文化センターさくらプラザ・ホール



さくらプラザ特待生
しん あや ね
第1期生 修了 **進 絢瑛**

～戸塚から羽ばたく未来の音楽家～

第19回特待生ミーティング(試演会)が12月26日(火)にホールにて行われました。久々の試演会で「演奏の楽しさを伝えたい」「想いを身体で表現したい」「大きな舞台上で演奏する貴重な機会を大切にしたい」など、参加者それぞれに意気込みがあったようです。今回は6名の特待生が参加してくださり、ピアノのソロ演奏・家族と一緒にアンサンブル・ギター弾き語り・曲に合わせて自分で振り付けをした創作ダンスなど、バリエーション豊かなプログラムとなりました。



試演会後 交流会での集合写真

◆さくらプラザ特待生とは◆

次代を担う若いアーティストたち。公募により概ね13歳から24歳までのプロの演奏家・表現者を指している方を認定し、さくらプラザ主催公演を無料で鑑賞することで、自身の芸術活動に活かしてもらうための事業。将来表現者として区民に還元してもらうことを期待しています。現在14名の特待生が在籍中。



プログラム

♪飯田 和也 / kazuya (ギター・ヴォーカル)

- スキの糸 (オリジナル曲)
- Don't (Ed Sheeran カバー)
- Sincerely (オリジナル曲)

♪kaho (創作ダンス)

いのちの歌 (オリジナル音源)

アップテンポの曲にチャレンジ!



生きている一瞬一瞬を大切にすることの喜びを表現!



♪進 絢瑛 (ピアノ) / アンサンブル・ミルブランタン

- Winter Serenade (オリジナル曲)
- Starlight Rapsody (オリジナル曲)
- JAPANESE (オリジナル曲)

♪小林 萌香 (ピアノ)

F. リスト / メフィスト・ワルツ 第1番
「村の居酒屋での踊り」S.514/R.181

家族で結成したアンサンブルで音楽の楽しさを伝えたい!



リストのカッコよさと美しさを見事に表現!



♪富山 咲菜 (ピアノ)

- S. ラフマニノフ / 楽興の時 Op. 16 より 第4番 小短調 第5番 変二長調
- F. ショパン / エチュード Op. 25-5 小短調
エチュード Op. 10-5 変ト長調「黒鍵」

好きな作曲家の想いに寄り添って……



ショパンの難曲を雄大に!

♪難波江 健太 (ピアノ)

F. ショパン / アンダンテ・スピアナートと華麗な大ゴロネーズ 変小長調 Op. 22

【言葉】も表現のひとつです。特待生の試演会では、自分が舞台上立つ際には必ず自己紹介と、聴きどころや見どころ、特に頑張ったことなどを話してから演奏やダンスをしていただいています。

特待生たちは、「頑張ったところを言葉にして伝えたい、より大切に演奏しよう!」と思えるようになった」「話してから演奏すると、頭の中が整理されるので緊張がほぐれて、良いパフォーマンスができる気がする」「想いを言葉にすることで、演奏にも心を込めることができるようになった」など、良い効果が生み出されている様子でした。

試演会終了後は交流会を実施し、特待生同士で感想を述べ合い、楽しい時間を過ごしました。舞台上では少し緊張していたけれど交流会ではみんな笑顔!

【Pick Up 特待生】で取り上げた進 絢瑛さんは今回の試演会が特待生としての最後の活動となりました。

これからは自分の力で音楽とともに人生を歩んでいかれることと思います。どこかで出会った際にはぜひ応援をしていただけたら嬉しいです。

これからも特待生の活動をレポートしていきます!

2015年11月から始まった特待生制度に初期の頃から参加して下さっていた1期生の進 絢瑛さんが2024年3月で特待生を修了されます。約8年間の想い出を振り返っていただきました。

特待生制度に参加されたのは高校生の時でしたね。どのようなことがきっかけでしたか?

進 絢瑛 (以下、省略) — さくらプラザの入り口で、特待生募集の案内を拝見したのがきっかけです。私と同じように、音楽が好きの方々と交流をしたり、さまざまなコンサートに伺って勉強させていただいたり、音楽に関わるたくさんの方のチャンスにとっても期待を感じていました。

約8年間の特待生としての活動の中で楽しかった思い出を教えてください。

— コンサートの鑑賞では、リベル・タンゴなど、オール・ピアノプログラムを楽しめた、El Cielo 2020のコンサートが印象に残っています。普段自分が勉強しているクラシック音楽のジャンルとは雰囲気異なり、音色や演奏方法に魅力を感じました。その他のコンサートでも様々な楽曲を拝聴させていただいた思い出がございます。

また、年に1~2回行われる試演会で演奏させていただいたことは、自分にとってよい経験になりましたし、楽しかった思い出です。試演会は勉強のために、必ず参加していましたね。時期によっては、他の特待生の参加がなく、ひとりのみの単独試演会だったこともありました(笑)。リハーサル室での試演会も、ホールでの試演会もそれぞれに得るものがあり、皆様と演奏を聴きあえる貴重な機会でした。特待生ミーティングでは皆で集まって、さまざまな音楽の情報を共有したり、音楽以外の何気ないお話をしたり、世界が広がりました。学年も学校も異なる方々がほとんどでしたが、中には同じ学校で、同じ門下(ピアノの師匠が同じ生徒)の人もいたり、たくさんの方との出会いがありました。同じ空の下で、同じ仲間が同じように頑張っていて、いつも仲間と繋がっているんだなと感じています。欲を言うと……、特待生の演奏を地域の皆様にもっと広く聴いていただけるコンサートがあったらいいなと思いました。また、会場に足を運ぶのが難しい人いると思うので、配信を残して後から皆様に聴いていただけるのも良いアイデアかもしれません。やりたいことはまだまだあるので、25才を過ぎてでも参加できればなあと、ちょっと残念な気持ちもあります。



2023年12月26日ホールでの試演会で司会をする進さん

特待生制度は自分の成長に繋がっていると思いますか?

— 一すべての体験が、今の自分につながっていると思っています。試演会では、半年に1回の演奏に向けて、最大限の努力をして臨んでいました。演奏前のトークも暗記して話す練習をしていたので、お客様の前でパフォーマンスをすることの勉強になりました。プロのアーティストのコンサートをたくさん鑑賞することで、多種多様な楽曲や演奏に出会い、自分の音楽表現の幅が広がりました。



2017年 / 試演会



2021年 / 特待生コンサート

お友達や後輩などにこの制度を伝えてあげたいと思いますか?

— はい! 自分がまだ知らなかった楽曲に出会えるコンサートや、自分自身が成長する良い機会をくださった試演会、魅力のあるイベントなど、特待生制度はとても素敵な制度だと思います。ぜひ積極的に伝えて差し上げたいと思っています。

今後、音楽でどのように社会に貢献していきたいですか?

— 去年で大学院を修了し、現在は私学小中学校の教員、ピアノ教師として初めて社会に出て働いている中で、音楽だけではなく幅広い視点で物事を見る大切さを感じました。

また、ソロ活動だけでなく、アンサンブルなどで、多様な方々に喜んでいただける演奏をお届けしていきたいと思っています。母、そして知的障がいのある弟で結成されたユニット「アンサンブル・ミルブランタン」を組んで、活動しており、福祉施設や学校で演奏する機会をたくさんいただいています。演奏を聴いてパワーや癒しをいただけたというお声をいただいていることから、今後も演奏を通して活動を続けていきます。

2024年2月にはさくらプラザ主催の春の芸術祭にも参加させていただき、地域の皆様に演奏を聴いていただけることができ、嬉しく思います。また教員としても、リトミックや音楽療法など、様々な勉強をして、幅広い教育を展開し、音楽が持つ力や学ぶ楽しさを共有できる、心に寄り添った音楽教師として社会に貢献していきたいです。

さくらプラザはとても素敵なホールですので、障がいのある子どもたちをお招きしたインクルーシブなコンサートなどをいつか開催したいと思っています!

進さんの今後のご活躍を楽しみにしています!

取材・構成 / 山上 由布子

【ふむふむ、WA!】と驚くような、【輪】になって繋がっていくような……。文化芸術と街の視点で【子育て】を考える連載の第2章。さくらプラザにできる地域連携の新たなカタチを一緒に考えていく。文化芸術には何ができるのか!?

Vol.5 標石-新年度に向けて

さくらプラザさんが「教育」をテーマとする新たな地域連携の形を模索するために対話し、記録してきたこの連載。主たる話題はアウトリーチとなり、特にアウトリーチのためのコーディネーターの育成について、その重要性和課題を確認してきました。この対話の延長に企画されたのが「アウトリーチコーディネーターの実情と育成に関わるトークイベント」(2024年2月17日)です。本連載にて対話を重ねる近藤さん(さくらプラザ 事業・企画責任者)と私の他、芥川さん(青葉区民文化センターフィリアホール 副館長・企画制作統括)をお招きしたこのトークイベントでは、フィリアホールさんの実情を伺いながら、より質の高いアウトリーチの実現に求められるコーディネーター像や、館としていかにコーディネーターを育成していくのかについて議論が交わされました。連載からトークイベントの実施へと、アクションを起こせたことはこの1年間の対話の積み重ねによるものだと実感しております。対話とアクションとの両輪で一つずつ進んでいくことの重要性を感じています。ご来場・ご支援いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。

さて、1年間続いた連載も、この記事で締めとなります。まわりくどい私の書きっぷりは、まずは日本の教育事情から始まり、さくらプラザさんのこれまでの地域連携活動の整理、特にアウトリーチへの焦点化と、アウトリーチを支えるコーディネーターの育成が重要である、というように展開をしてきました。具体的には今後、戸塚区のアーティスト発掘・確保に力を入れていく方向が確認された他、最後の対話の機会では、コーディネーターに求める力として「ゼロからの企画力と行動力」がキーワードに挙がりました。

アウトリーチの現場では、演奏家や団体がプログラムをパッケージとして持っており、それをほとんどそのまま学校等で実施するものと、学校等からの依頼に基づいてゼロからオーダーメイドでつくっていくものと大きく2パターンがあると思いますが、さくらプラザさんとの対話では、後者に十分に対応できる館の力をつけていきたいとのこと。そのためには、依頼者のニーズを優先するがために演奏家等に負担がかかりすぎてもいけませんし、逆に演奏家等の都合を優先するがために依頼者のニーズからずれていくこともまた困ります。どのようなアウトリーチであれば関

係者全員が満足できるのか、そうした課題解決に向けて、①各所の話に耳を傾け、整理し、②課題解決のための自分なりのアイデアをもち、③各所と共有、調整していくこと、そして④行動していくこと、こうした「ゼロからの企画力と行動力」こそがさくらプラザさんが求めるコーディネーターの姿なのだと着地しました。新年度は、コーディネーターをやってみたいという、興味のある方が参加できる研修を企画・実施し、つながっていくことが次の一歩になりそうです。そして、アウトリーチに限らず、「ゼロからの企画力と行動力」は、組織の力を高めていくために共通して大切な力でもあります。理想としては、さくらプラザのスタッフさんにも研修に参加いただき、「自分の組織は、自分でより良くできる」ことを自覚するスタッフが増えていくと、館全体の企画力と行動力の底上げとなり、それは将来的なアウトリーチの充実につながっていくように思います。さくらプラザさんの2024年度が、アウトリーチのさらなる充実に資する1年となりますよう、心から願っております。

最後に、令和6年能登半島地震にて被災された全ての皆様に、心より深くお見舞いを申し上げます。この地震について、まだ言葉にできる状態ではないのですが、阪神・淡路大震災後と東日本大震災後に共通して、文化芸術による「心の復興」が言われたことを思い出しました。芸術が人と人をつなぎ、心の癒しとして機能する可能性、また芸術に触れることで想像したり、創造することが、逆境を乗り越えるヒントにつながる可能性も言われます。地域における文化芸術の促進は、個人個人のより一層の精神的な幸福に加えて、人と人とのつながりを深くし、ともに楽しみ、助け合える地域づくりとも言えます。さくらプラザさんによる新しい地域連携の模索をテーマとしたこの1年間の連載は、その点で、より豊かな戸塚地域を実現するために必要な対話でした。



小田 直弥
 弘前大学教育学部音楽教育講座助教(ピアノ研究室)。東京学芸大子ども未来研究所学術フェロー。「合唱×教育」の実践的研究を行う「合唱団よびごえ」の代表。ヤマハ株式会社によるエジプト国初等教育への日本型器楽教育導入事業に参加している他、「きかんしゃトーマス」を非認知能力の観点から検証した株式会社ソニー・クリエイティブプロダクツとの共同研究の実施、「きかんしゃトーマス」でつなげる 非認知能力子育てブック(東京書籍)等がある。



さくらプラザ開館10周年記念スペシャル

User's Voice

最終回 Vol.6 吉府 充希子さん

吉府 充希子(コンセル・アミティエ) プロフィール
 戸塚区在住の声楽家・吉府充希子さんが主宰する会です。2013年9月より、童謡・唱歌を歌い、生演奏を聴いて音楽を楽しむ会として歩んでまいりました。新型コロナウイルス感染症の心配される状況の下でも、安心して音楽を楽しめる内容に変更し活動を継続しました。現在は、少しずつ皆さんと歌う時間を増やしながら、バラエティに富んだゲストを迎えています。

1 10周年を迎えるさくらプラザにメッセージをお願いします!

開館10周年おめでとうございます。さくらプラザの誕生は戸塚区民の一人である私にとって、美しい花束を贈られたような素敵な出来事でした。さくらプラザ主催の公演は色とりどりの花々のようにバラエティに富んでいて目が離せません! これからも私たち戸塚区民の日常が文化芸術によって豊かなものとなるよう、さくらプラザの事業に期待しています。

2 さくらプラザでの思い出を教えてください!

コンセル・アミティエの代表としては、初代の館長さんに「良い事業だから共催で!」と声をかけていただいたこと。ソプラノ歌手としては、さくらプラザ主催の名曲サロンVol.12に出演させていただき、2回公演とも売売となったこと。数年前まで代表を務めていた戸塚区演奏家協会の会員としては、オペラ「まさかりが淵」の台本を執筆し初演の舞台に立ち、公演を成功させたこと。まだまだ沢山あります!

3 今後、さくらプラザと取り組んでみたいことなどありましたら教えてください。

「音楽サロン plus」は大人向けのコンサートとなっています。2023年11月、小さなお子さんとママのための音楽イベント「音もだちコンサート」を初めて開催しました。(お陰様で大盛況でした。)20数年前、0歳と2歳の子供を連れて知り合いのいない戸塚に引っ越してきた私の子育ての経験から、いつか実現しなかった音楽イベントです。このコンサートをまた開催出来たら嬉しいです。



人は皆 背中で語る... 其之六十三

見返戸塚人

ミカエリツツガジン

戸塚の魅力あふれる方々をご紹介します。

一市村さまについてお聞かせください
 私(渉さん)は横浜の栄区で生まれ、東京で看護師として働いている時に妻と出会いました。妻の実家が宮崎県でいちご農家を営んでいて、農家の後継者がいないということで、悩みましたがいざい看護師を辞めて農業をするならばすぐにでもやってみたいと思い、結婚を機に宮崎県に移住をして農業を始めました。

一現在の場所にオープンしたきっかけや特色などについてお聞かせください。
 人が多い場所でいちご狩りができたら喜んでもらえると思ひ、横浜市での「農地マッチング事業」という、農地を貸したい人と借りたい人が登録できる制度を利用して今の場所を見つけました。大学時代は湘南台に通っていたので、馴染みがあるこの場所に決めて準備を始めました。準備を進めていく中で、障がいのある方でも気軽に行くことができる等、特色があるいちご園にしたいと色々考えた結果、今のイチゴスの形になりました。



イチゴス横浜

ハウスは2000平米程の広さで、吊り下げ式の2段設計にする事で温室内にいちごを沢山植えられ、通路幅も広くとれるバリアフリー設計が可能となりました。吊り下げ式栽培を取り入れている園は日本ではまだ数は少ないです。去年は10種類だったいちごも、種類が多い方がお客様に喜んでいただけると思ひ、今年は章姫、紅ほっぺ、よつぼし、ベリーポップすず、かなひめ、かおり野など12種類に栽培を増やしました。

一来店されるお客様はどのような方が多いですか?
 ご家族連れや、おじいちゃんおばあちゃんがお孫さんを連れて一緒に来ていただける方も多いです。医療的ケアが必要なお客様がいて、外に行く場所が限られてしまうというご家族から、「病院を出て初めての外出がここだったんです」と言っていただけてすごく嬉しかったです。

一今後の目標などありますか?
 今までなかなか出掛けられなかった方が外に出るきっかけになってくれて、もっと色々な人知ってもらえるようになれば良いと思います。ビニールハウス内をバリアフリー設計にする以外にも、去年からいちごが実った状態のプランターを施設に持ち込み、そこでいちご狩りを体験してもらおう「出張いちご狩り」や、今年は遠隔操作ができるロボットを導入して、遠方にいる障がいのある方がロボットを操作し、来園者にいちご狩りの説明をして働いていただけるようにもしています。今後は、いちご狩りだけでなく社会参加の場所としても提供ができたらと考えています。

一読者の皆さまに一言お願いします!
 戸塚の近くにありますので是非覗きください。駐車場はありませんが、戸塚駅からバスも出ておりますし、大人数であればタクシーでお越しください。いちごは5月いっぱいまであります。

顔見世

戸塚人に逢いに行こう!

イチゴス横浜

営業時間 10:00 ~ 16:00 月・金定休
 神奈川県横浜市戸塚区深谷町987-1 (神奈中バス 横浜葉大南門 下車徒歩9分)
<https://ichigosu.jp/>
 Instagramアカウント: @ichigosyokohama
 TEL: 070-8555-9871



次号の戸塚人は...?

この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細は各公演チラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券は公演当日に学生証を必ずご持参ください。※チケット料金は総額表示です。

主催

第11回 区民企画事業

2023年度 さくらチャレンジプロジェクト報告会

無料 申込受付中

定員30名(先着予約順)

「さくらチャレンジプロジェクト報告会とは?」

「世代間の交流を促す芸術文化事業」をテーマに参加をいただいた全4団体による活動を、それぞれの団体とさくらプラザのスタッフによる対話形式で振り返ります。

3/23(土) 14:00~16:00

※終了時間は予定となります。

※詳細は当館HPをご確認ください。

会場 リハーサル室



らららん♪ドレミシリーズVol.24

0歳からのコンサートデビュー♪

情報公開3月初旬予定

4/4(木)

会場 リハーサル室



若林 顕セルフプロデュース

若林 顕 ピアノ・リサイタル2024

若林 顕 (ピアノ)

全席指定 一般 3,000円/横浜市民 2,700円
学生 1,000円

電話予約開始 3/13(水) 14:00~

4/20(土) 14:00開演 休憩あり

会場 ホール

まもなく発売



©Burkhard Schelbe

前橋 汀子

珠玉の名曲集 2024 in 戸塚

前橋 汀子 (ヴァイオリン)

ヴァハン・マルディロシアン (ピアノ)

全席指定 一般 3,700円/横浜市民 3,500円
EX(補助席・見切れ席) 2,000円/学生 1,500円

電話予約開始 4/13(土) 14:00~

6/23(日) 14:00開演 休憩あり

会場 ホール



©岡本 隆史

LEO 箏 リサイタル

with 多久 潤一郎 (フルート)

LEO (箏) 多久 潤一郎 (フルート)

全席指定 一般 3,500円/横浜市民 3,000円
EX(補助席・見切れ席) 2,000円/学生 1,500円

電話予約開始 6/13(木) 14:00~

8/24(土) 14:00開演 休憩あり

会場 ホール



©日本コロムビア

名曲サロン シリーズ

開催日程調整中/情報公開4月初旬予定

会場 リハーサル室



共催

下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱い

戸塚区演奏家協会による

ガラ・コンサートVol.9

戸塚区演奏家協会メンバー

(ソプラノ、フルート、ピアノ)

全席自由 前売り 1,800円
当日 2,000円

主催:戸塚区演奏家協会

3/10(日) 14:00開演

会場 ホール

とつかのん



好評発売中

坂巻 貴彦 おしゃべりコンサート

坂巻 貴彦 (ピアノ)

全席自由 一般 2,000円
学生 1,000円

主催:おしゃべりコンサート実行委員会

3/24(日) ①11:00開演 ②14:30開演

会場 リハーサル室

好評発売中



コンセール・アミティエ 第56回 音楽サロン plus

~皆さんと一緒に~

全席自由
各回前売り 1,000円
当日 1,200円

主催:コンセール・アミティエ

3/26(火) ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室

好評発売中



吉府 充希子 (ソプラノ)



天明 さおり (マリンバ)



北村 真紀子 (ピアノ)

©山口 恵也 (Studio:Diwa)

©山口 恵也 (Studio:Diwa)

社会風刺コント集団

ザ・ニュースペーパー LIVE 2024

全席指定 各回 4,800円

主催:東京労音

4/6(土) ①14:00開演 演劇 高良 御礼 ②17:30開演

会場 ホール

好評発売中



コンセール・アミティエ 第57回 音楽サロン plus

~皆さんと一緒に~

全席自由
各回前売り 1,000円
当日 1,500円

チケット発売開始

3/27(水)9:00~

※第56回会場にて参加者限定

先行販売あり。

主催:コンセール・アミティエ

5/28(火) ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室



吉府 充希子 (ソプラノ)



根岸 一郎 (テノール)



磯部 章子 (ピアノ)

©山口 恵也 (Studio:Diwa)

©山口 恵也 (Studio:Diwa)



TEL:045-866-2501 FAX:045-866-2502



〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F



event@totsuka.hall-info.jp



https://totsuka.hall-info.jp

さくらプラザ

検索

※通信料が発生します。



戸塚区民文化センター さくらプラザ



Vol.65

3・4月号

2024.3.1発行

編集後記

いよいよ桜満開の新年度ですね!

さくらプラザは10周年の記念イヤーも終わり、新たなスタートをきります。

2024年度は「伝統と革新」をテーマに主催事業を開催していきます。

皆様、お楽しみに

(近藤)